

令和3年4月1日

会長就任のご挨拶

全国英語教育研究団体連合会

会長 博田英明

(東京都立松が谷高等学校長)

このたび、鈴木真人前会長の後任を務めさせていただくことになりました、博田英明（はかた ひであき）です。私自身、全英連の活動には、研究部に所属していた20数年前から参加させていただき、研究部会の運営や東京大会の分科会における会場責任者などを担当させていただき機会に恵まれ、また活動を通して多くの先生方の研究や実践に触れ、自分自身の授業実践に役立てることができました。あらためて感謝申し上げます。

30年近く英語教師として日々生徒と向き合ってきた経験から、私がもし「英語教師という職業を他の職業に例えるなら」という質問を受けたとしたら、迷わず「調理人」と答えます。なぜなら、英語教師は様々な教材（食材）を自分なりに組み合わせる工夫（味付け）し、生徒（お客様）に授業を通して提供することで、生徒（お客様）に「英語力が身に付いた！」（「美味しかった！」）と実感してもらうことが最大の喜びではないかと感じるからです。レストランや食堂がお店ごとに味覚に特長があるのと同様に、教材は同じでも、様々な工夫により味付けが異なる授業実践ができること。これが英語教師のやりがいに通じていると信じています。

全英連の長い歴史を踏まえ、グローバル時代に対応した英語教育を実践していくためにも、全国的な組織である全英連の役割は今後もますます高まっていくことでしょう。また全国すべての都道府県で若手英語教員の育成が大きな課題となっています。若手の育成は、生徒の英語運用能力養成を目指した授業力の向上はもちろん、全英連を担っていく次の人材を育てるという意味でも、大きな課題と考えております。

そのためにも歴代会長の皆様の様々な御努力を継承しながら、さらに全英連が発展するよう微力を尽くしたいと考えています。会員の皆様の忌憚のない御意見をおうかがいしまして、より親しみのもてる、楽しくて実りのある全英連にしたいと思っております。会員の皆様のこれまでと変わらぬ御支援と御協力をお願いいたします。

最後に、2020年の東京大会は中止となりましたが、発表予定であった先生方の実践は、全英連ホームページにおいて発表いたします。お時間がございましたら、ホームページを御覧いただき、東京大会のレガシーを感じていただければ幸いです。